

## 地域共創委員会事業計画

委員長	丸山	智史
副委員長	市村	重久
副委員長	長尾	章
副委員長	渡邊	章
運営幹事	布施	直人
会計幹事	福嶋	大

### 【基本方針】

上越市のシンボル高田城の築城にあわせて整備された高田寺町。今でも65の寺院・神社が薈を連ねており、通りを挟んで二列に整然と配置された景観は大変珍しい寺院群として全国的にも類をみません。しかし、魅力のあるまちがあるにも関わらず観光的な効果を発揮するには至っておりません。人口減少・高齢化の進展に直面している上越にとって観光振興によって地域外から消費を獲得することが地域活性化に重要な事であると考えます。

当委員会では全国でも類をみない65の寺院群を地域の価値ある財産として捉え、寺町の魅力を県外・国外に発信し交流人口の増加を目指して運動を展開していきます。まずは、寺町の歴史的価値や文化的魅力を知って頂く為に講演会を開催いたします。その中で私たち一人ひとりが寺町の魅力や抱える問題を知り、解決策を地域の方やメンバーと探り目的を共有する機会をつくります。次に、地域活性に取り組む為に寺町と連携して外国人観光客の関心につながる為の宿坊、座禅、寺巡りなど様々な形態で体験できるインバウンド事業を行ないます。受け入れ体制を整え、情報として分かりやすく発信する事で外国人が訪れやすくします。訪れる人と住民が交流する事で寺町が元気になり、その様子を県外・国外へ発信し交流人口増加につなげます。人・物・情報が循環する事で継続的な発展や経済活性につながり日本、世界から観光の目的地として選ばれる地域を目指します。最後に交流人口増加の為に寺町と連携した事業を開催します。主体的に地域が行なうイベントを通じて地域を担う人づくりとなり、それが寺町の価値を高めるまちづくりにつながります。

先人により築き上げられてきた宝を大切にしながら財産として地域外へ魅力を発信し人と人を通して広げます。人が集まる場所には賑わいが生まれ、それが地域に住む人のモチベーションにつながり、寺町の大きな武器として次世代へ受け継がれると確信します。

**【委員会職務分掌】**

1. 会員拡大への参画
2. 創立55周年記念事業への参画
3. 魅力伝承講演会事業（4月担当例会）の実施と報告
4. R I N X - 4 交流事業の主管開催
5. 寺町の特徴を活かしたインバウンド事業の実施と報告
6. 寺町と連携した事業の開催の実施と報告